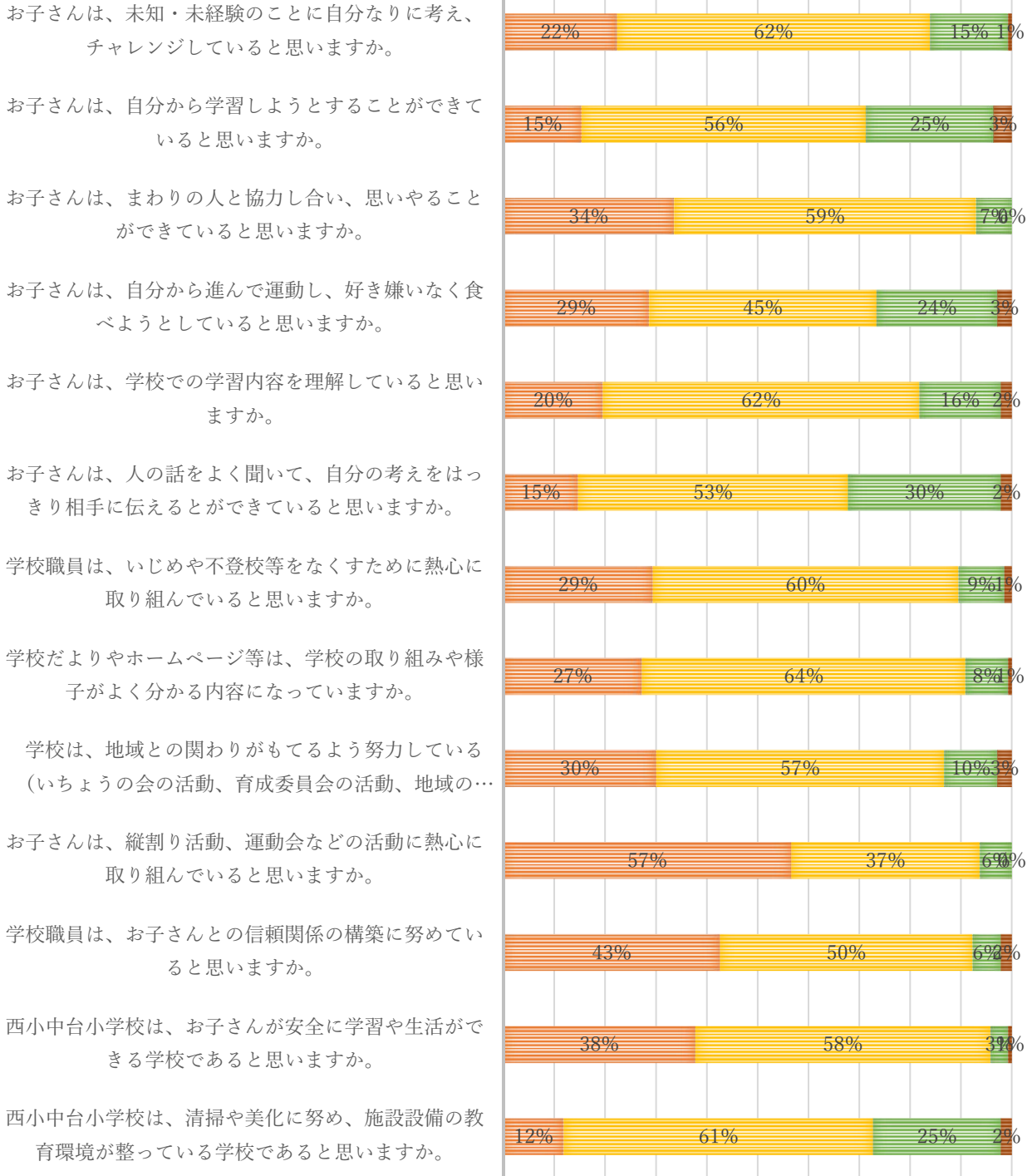


令和5年度保護者アンケート（前期学校教育評価）結果

■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ 全く思わない

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



13項目中、9項目で80%以上の肯定的評価（そう思う、どちらかと言えばそう思う）をいただきました。「西小中台小学校は、お子さんが安全に学習や生活ができる学校である」（96%）「お子さんは、縦割り活動、運動会などの活動に熱心に取り組んでいる」（94%）「お子さんは、まわりの人と協力し合い、思

いやることができている」「学校職員はお子さんとの信頼関係の構築に努めている」(93%)などの項目で特に高い評価をいただきました。本校が子供たちの安全を第一に学校教育活動を進めていることや、子供たちと本校職員との良好な関係性についてご理解いただき、ありがとうございます。また、アフターコロナ初年度ということもあり、コロナ禍前に近い形で学校行事を実施したり、子供たち同士が交流する活動を行ったりすることが増えました。その中で、子供たちが互いに思いやり協力し合いながら、学校行事や縦割り活動等に意欲的に取り組んでいる様子が保護者の方にも伝わっていること、本校職員にとっては大変嬉しく励みになる結果となりました。

「人の話をよく聞いて、自分の考えをはっきりと相手に伝えることができている」(R4年度72%→今年度68%)「自分から学習しようとする事ができている」(R4年度74%→今年度71%)から、本校の子供たちは「話を聞いて内容を理解すること」や「自分の考えや思いを相手に伝える」ことが苦手であることがわかります。教師や友達の話を書くときのルール等を再確認し、人の話は「よい耳」と「よい目」「よい心」で聞くことを指導していきます。また、コロナ禍から明けたとはいえ、マスクによってお互いの表情を確認することが難しかった3年間は、「伝える力」の低下に少なからず影響を与えていることと思われます。相手への「伝え方」については、子供たちは学習のみならず毎日の生活の中の様々な体験から学ぶものです。その体験の中には、友達と喧嘩したり、意見が合わなかったりするなどのことも含まれます。子供たちは失敗も含めた様々な経験から学び、少しずつ成長していきます。私たち教職員も含めた大人はつかず離れず見守りながら、子供たちが自分の力で周囲の人たちと良好な関係性を築く力を身に付けられるよう、指導・支援していきたいと考えております。

また、学ぶことの喜びや必要性・有用性を感じた時、子供たちは自ら学ぼうとするでしょう。子供たちが「できた」「わかった」「がんばった」と感じられるような授業・活動の工夫に、引き続き取り組んでいきます。たくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

施設設備等教育環境の整備につきましては、学校施設の老朽化に伴い、子供たちや保護者の皆様に多々ご不便をおかけしていること、大変申し訳ございません。トイレ改修工事につきましては、皆様のご理解とご協力のもと、ようやく第1期工事の完了が目前となりました。令和6年度まで断続的に改修工事が行われることにより、今後もしもご不便、ご迷惑をおかけすることとなりますが、ご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。その他修繕や改修が必要な個所につきましても、随時教育委員会に報告を上げつつ改善を図ってまいります。

保護者の皆様からいただいたご意見は全教職員で共通理解し、子供たちのよりよい成長のために活かしてまいります。ご協力ありがとうございました。